

- ◆企画名 より良い学生生活を送ろう～人間関係の落とし穴～  
日程 平成25年11月26日(火)  
場所 総合学生会館凜風館4階 ミーティングルーム  
参加者数 13名(ピア・サポーター8名、一般学生5名)  
目的

NPO 法人 心のサポート・ステーション 代表理事 宮本由起代氏を講師に迎え、大学生が日常的に感じるようなコミュニケーションのつまずき・落とし穴を解消し、さまざまな場面でより良い人間関係を築いていく力を養い、大学生活を充実させる。

#### 内 容

私たちの日常生活には、「あなた最近太ったんじゃないの?」「君っていつも頼りにならないよね」などといった何気ない一言により、誰かを傷つけたり誰かに傷つけられたりする場面があふれている。その様な場面に出くわした際に、自分も相手も大切にしながら言いたいことが心配なく言えるアサーティブなコミュニケーションの取り方や、「NO!!」の言い方(断り方)について、参加者に考えてもらうきっかけ作りを行った。

形式は、宮本先生による講義を中心としながら、メンバーによるロールプレイや、参加者とメンバーの間での意見交換を取り入れた講演会である。

#### 感 想

- ・講義やロールプレイと意見交換を織り交ぜることにより、講義型と参加型のそれぞれのメリットを統合した講演会ができたと考えられる。
- ・ロールプレイを学生によくある場面設定にしたことで、参加者にとって身近な内容になったと考えられる。
- ・参加対象を限定することなく、「人間関係の落とし穴」における被害者・加害者・第三者のいずれであっても意義のある内容にしたため、様々なニーズに応えることができたと考えられる。
- ・事業の立案当初から、人間関係についての悩み相談をしたい学生が参加することが危惧されていたが、当日その様な参加者はいなかったため、広報の仕方が良かったと考えられる。

#### 改 善 点

本事業は、「より良い学生生活」を送るためのコミュニケーションの取り方について考えるという内容であり、インフォメーション告知文やポスターなどでもそのように広報していた。そのため、「人間関係の落とし穴」の一例として「ハラスメントに陥った人間関係」を取り扱う予定であったが、講演会当日の内容が「ハラスメント」に偏りすぎてしまった。今後は、一般学生に広報した内容と当日の内容に差を出さないようにすべきである。

